



単元課題
近畿地方はどのような地域が仮説を立てて検証しよう

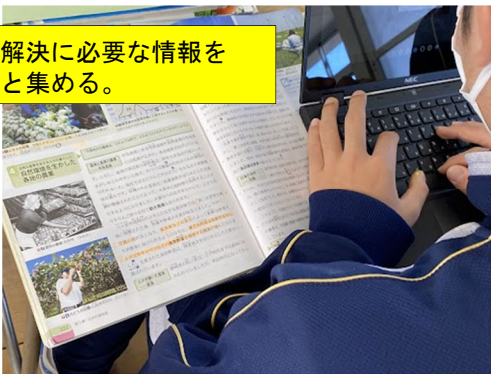
学習の流れ
0 最初の仮説立て
知ってることを出し合う → 仮説化する (第1次)
～であれば近畿地方である
近畿地方であれば～である

ここからは同じことを学んでも、切り取り方はそれぞれちがっててくることがあります

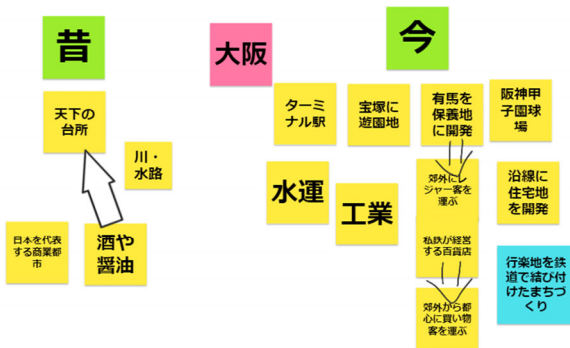
- 1 近畿地方の自然
- 2 近畿地方の人口・産業
- 3 近畿地方の歴史 農耕
- 4 近畿地方の歴史 都市の発展
- 5 近畿地方の歴史 開発
- 6 近畿地方について仮説を立て直す・検証する
- 7 スライドにまとめる

第2時～第5時

課題解決に必要な情報を
仲間と集める。



仲間と集めた情報を
自分で整理する



整理したことを伝え合う

学び方の面でまとめる

互いの学び方から学ぶ

まとめ（方法）
資料と資料、資料と本文を繋げて考えたり、他の地域と比較したりして考えることができた。資料と繋げて考えて、わかったことを直接資料に書き込むことで、自分が理解したことがわかりやすかった。

資料同士をつなげたり、更にそれを本文とつなげたので、本文の内容を納得しやすい形で説明することができました。また、書野すぎの伏線がある＝木が多く育つ
ということを証明するために、本文とつなげて、黒潮や夏の季節風の影響があることを調べて説明することができました。

資料同士を繋いで、関連付けて考えられた。

近畿地方は外国の様々な文化に触れることのできる

他の地域と比較して考える事ができた。教科書の資料同士をつなぎ合わせることでより広い視野をもって取り組むことができた。説明するときなるべく教科書を見ずに相手の顔を見て伝えることができた。

教科書にいっぱい書き込むことができた

教科書資料から本文や資料を繋いで、比較的に繋がらないうちよりも比較しやすく、盲段より多角的にとらえやすかった。なので、簡単に情報収集ができて、説明することができた。

教科書の資料と資料、資料と本文を繋げて考えた。例えば、本文中の地名と地図を繋げたりした。また、グラフなどの具体的な数字が書かれた資料をよく使った。

教科書の資料と本文をつないで自分なりに考えを深めることができた。特に教科書 p211の資料④では地図に出てくる地名と本文に出てくる地名で共通のものを見つけて本文の情報を地図上に書き込む事もできた。

1時間の流れも常に共有

④ 近畿地方③

小川晋・11月9日（最終編集:11月9日）

100点

単元の課題

近畿地方はどのような地域か、仮説を立てて検証する

本時の課題

近畿地方の古都にはどのような歴史的景観が見られるか

- 1 情報を集める
動画から
教科書から
わかったことを伝え合う
- 2 情報を整理分析する
見出しを立てて → 整理する
(例えば) 原因と結果で考える
(例えば) 多面的多角的に整理する
(例えば) 具体化して構造化

第6時～第7時 仮説の検証

宿泊者数の割合 (2018年)

都道府県	割合
北海道	0.0000
青森県	0.0000
岩手県	0.0000
秋田県	0.0000
山形県	0.0000
宮城県	0.0000
福島県	0.0000
茨城県	0.0000
栃木県	0.0000
群馬県	0.0000
埼玉県	0.0000
千葉県	0.0000
東京都	0.0000
神奈川県	0.0000
新潟県	0.0000
富山県	0.0000
石川県	0.0000
福井県	0.0000
山梨県	0.0000
長野県	0.0000
岐阜県	0.0000
静岡県	0.0000
愛知県	0.0000
岐阜県	0.0000
静岡県	0.0000
愛知県	0.0000
三重県	0.0000
滋賀県	0.0000
京都府	0.0000
大阪府	0.0000
兵庫県	0.0000
奈良県	0.0000
和歌山県	0.0000
鳥取県	0.0000
徳島県	0.0000
香川県	0.0000
高松市	0.0000
愛媛県	0.0000
高知県	0.0000
福岡県	0.0000
佐賀県	0.0000
長門県	0.0000
熊本県	0.0000
大分県	0.0000
鹿児島県	0.0000
沖縄県	0.0000

14:03 11月14日

赤線が引いてあって見やすかったです！

生徒同士の情報共有

23:29 11月12日

URLありがとうございます！

観光名所が多く、観光業が発展していれば近畿地方だろう

観光名所...観光地として知られている場所

URL (URLを入力)

<https://www.pref.kyoto.jp/kyoto-tourism/>

<https://www.pref.osaka.jp/kyoto-tourism/>

11月15日
日本の都道府県別のいろいろなランキングを示しています。

都道府県別ランキングの全カ...
<http://grading.jpn.org/list.html>

11月15日
真別 指定文化財の数を示しています。

都道府県別指定等文化財件...
<https://www.bunka.go.jp/seisa...>

11月15日
<https://www.bunka.go.jp/seisa...>

観光客が多くなることを説明している資料です。

11月15日
文化財の分布についての資料です。

Welcome to Adobe GoLiv...
<https://www.adtthree.com/NP...>

生徒同士の情報共有

11月14日
<https://resemoon.jp/article/img/2017/09/27/40565181983.html>

中学生に人気の修学旅行先を都道府県別にランキングにした資料です。よかったらお使いください！

11月14日
簡単です。井口さんからのリクエスト資料です。

bunpuzu.s.gif
画像

自 仮説とその検証②

小川音・11月15日（最終編集:11月16日）
100点

- 1 モデルとなるプレゼンを聞く
- 2 繰り返し伝え合い
- 3 ディスカッションの見直しを立てる
聞く人
① 離れなくなるとくしない
② 質問をする
話す人
① 自分の言葉で話す
② 言ってもらえたらラッキー
- 4 同じ意見の人と
- 5 違う意見の人と
- 6 今日の学びをまとめる



自分がこうだと思っていたのも、ディスカッションを通して、実は伝わりにくかったりしたので、多数の意見を比較したり、根拠となる資料をいろんな視点から見つけることが大切だとわかった。

自分だけでは気づけなかったところを、2人、3人と話し合うことで新しい気づきは何個もありました。ただ写真を見て話すのではなくしっかり自分で考えたことを自分の力でまとめる、そんな力がこのプレゼンテーションには必要だと思うので何度も練習したいと思いました。

ICTじゃないところ

最後は何がつくる！

- ① レポート
- ② スライド
- ③ 話す・話し合う

学び手が、より質の高い
アウトプットをするために

1 見通しを持たせる

大きな見通し

小川音
11月4日

単元課題
近畿地方はどのような地域か仮説を立てて検証しよう

学習の流れ
0 最初の仮説立て
知っていることを出し合う → 仮説化する (第1次)
～であれば近畿地方である
近畿地方であれば～である

ここからは同じことを学んでも、切り取り方はそれぞれちがって行くことがあります

- 1 近畿地方の自然
- 2 近畿地方の人口・産業
- 3 近畿地方の歴史 景観
- 4 近畿地方の歴史 都市の発展
- 5 近畿地方の歴史 開発
- 6 近畿地方について仮説を立て直す・検証する
- 7 スライドにまとめる

小さな見通し

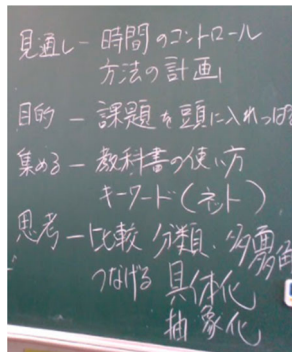
③ 近畿地方③

小川音・11月9日 (最終編集: 11月9日)
100点

単元の課題
近畿地方はどのような地域か、仮説を立てて検証する

本時の課題
近畿地方の各都市にはどのような歴史的背景が見られるか

- 1 情報を集める
動画から
新聞書から
わかったことを伝え合う
- 2 情報を整理分析する
見通しを立てて → 整理する
(例えは) 歴史と結果で考える
(例えは) 多面的多角的に整理する
(例えは) 具体化して構造化

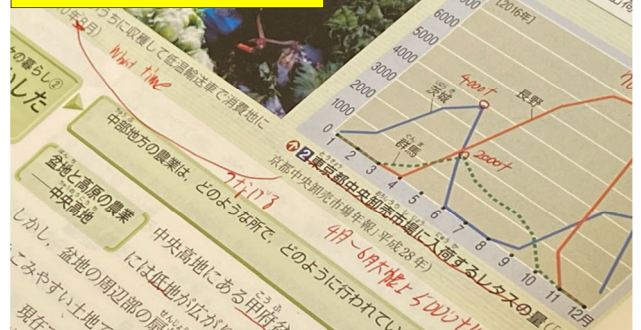


2 生徒が課題に合わせて知識を獲得できるか

知識の質を教える



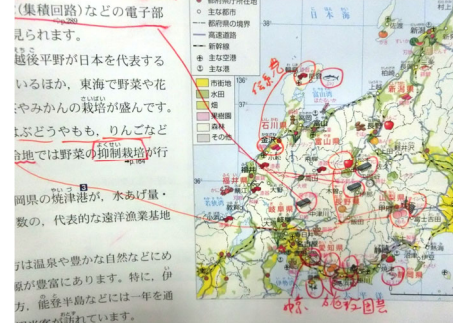
グラフを正確に読むスキル



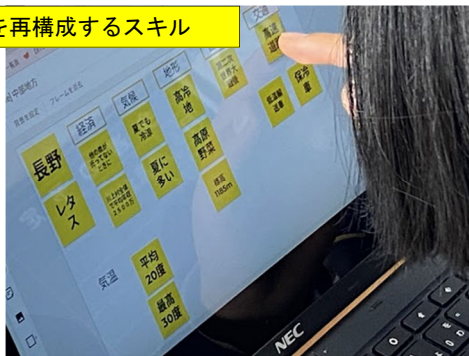
資料と資料をつなげるスキル



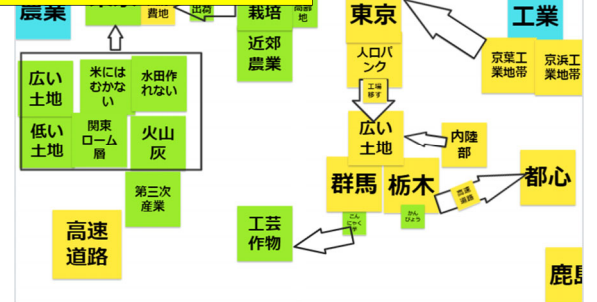
本文と資料をつなげるスキル



知識を再構成するスキル



クラウドなので5分でこうなる



話す場面を多く設定



3 学習の質を上げるスキル
を生徒が実装させる

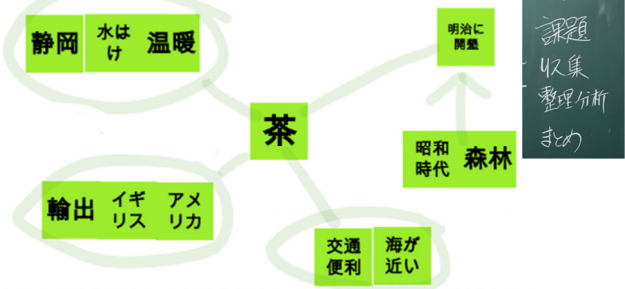
農業の見方

お米が苦手
↓
他の作物

見方
農業 風
①雨
②気温 +
③地形
④歴史
⑤交通
⑥経済(資)

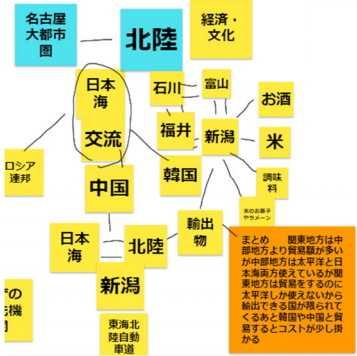
りやりんど狩りを行う観光農園も見られます。
八ヶ岳や浅間山のふもとに広がる高冷地では、第二次世界大戦後に開墾された後、牧畜や野菜の生産が始まりました。やがて、交通の便が良くなり、保冷車などの普及によって新鮮な野菜を大消費地に届けられるようになると、夏でも冷涼な気候を生かして、レタスやキャベツなどの高原野菜を栽培する農業が盛んになりました。生産された高原野菜は、関東地方をはじめとした大都市に運ばれています。

始まる小さな探究



結びつきの見方

①コスト ③モノ
②時間 ④人
⑤歴史



まとめ 関東地方は中部地方より貿易額が多いが中部地方は太平洋と日本海両方使えているが関東地方は貿易をするのに太平洋しか使えないから輸出できる国が限られてくるあと韓国や中国と貿易するとコストが少し掛かる

考えるための技法を身に付ける：比較



考えるための技法：多面的・多角的



話す方法を身に付ける



意見
「～だと考えます」
↓
理由
「なぜなら～だからです」
↓
根拠
「例えば～」

話し合う方法を身に付ける



メタ認知

気候の面と歴史の面、交通の面を絡めて考えられた。また、今の栽培方法と昔の栽培方法を比べて考えることでもした。メロンは最初きゅうりやトマトなどの半促成栽培の派生で作られ始めた。静岡沿岸部の南向きの斜面で温暖な気候とメロンは相性がいいことが分かった。

気候に着目して考えた。レタスは涼しい気候が大好き。また酸っぱい土を好まないレタスは長野の土にも合う。また長野県では高速道路も整備されているので早朝に取れたレタスをすぐに東京に届けられることができる。このように気候、土、交通の面で考えた。

花の生産が多いということの事実を調べそれを元にして考えた。そして、ビニールハウス内で電照灯を使い風や光の影響はなく生産できる。あと、ビニールハウスの中の気温は温暖。更に、花は蒸散で水蒸気の発して水蒸気が逃げると、ビニールハウスの屋根に付くことで湿気も保たれる。このように、気候、施設園芸農業の面で考えた。

生涯にわたって学ぶ

↓
探究的に学ぶ

↓
学ぶって楽しい